



グローバル EHSS – インシデント管理

管理情報

管理項目	詳細
文書番号	2W4373RQWREN-1568922467-891
改訂	0
改訂日	2024 年 11 月 14 日
ECN 番号	101175924
翻訳版文書	英語 、 簡体字中国語 、 繁体字中国語 、 ヒンディー語 、 日本語 、 マレー語

目次

1	目的.....	4
2	適用範囲.....	4
3	役割と責任.....	5
4	用語と定義.....	10
5	参考文献.....	11
6	文書管理.....	13
7	改訂履歴.....	15
8	基準.....	16
8.1	EHS Good Catch プログラム	17
8.1.1	EHS Good Catch 要件	17
8.2	EHS インシデント管理	18
8.2.1	緊急対応	18
8.2.2	業務上の怪我および疾病事例管理	19
8.2.3	グローバル EHS インシデント報告	20
8.2.3.1	グローバル EHS 傷害報告分類	20
8.2.3.2	グローバル EHS インシデント報告プロセスフロー	21
8.2.3.3	報告の一般要件	22
8.2.4	グローバル EHS ファーストアラートおよびイベント共有	23
8.2.4.1	ファーストアラートおよびイベント共有の一般要件	23
8.2.5	グローバル EHS インシデント調査	24
8.2.5.1	EHS インシデント調査の一般要件	24
8.2.6	グローバル EHS 学習した教訓	27
8.2.6.1	グローバル EHS レッスン学習の一般要件	27
8.3	管轄権を有する当局（AHJ）の訪問および違反通告の報告	28
8.3.1	管轄権を有する当局の訪問についての報告の一般的な必要条件。	28
8.3.2	違反通告の報告の一般要件	28
8.4	インシデント管理システム	29
8.5	トレーニング	30
9	付録.....	31

付録 1：グローバル EHS 重大度表	31
付録 2：拡大 IMS ビジネスプロセスフロー	34

ビジネスプロセス

図 1：EHS イベント解決プロセスフロー	16
図 2：Good Catch プロセスフロー	17
図 3：EHS インシデント管理ビジネスプロセス	18
図 4：傷害の分類	20
図 5：インシデント報告ビジネスプロセス	22
図 6：インシデント調査ビジネスプロセス	24
図 7：グローバル EHS レッスン学習ビジネスプロセス	27
図 8：AHJ および NOV ビジネスプロセス	28

表

表 1：インシデント報告ビジネスプロセス	23
表 2：インシデント調査要件	25

1 目的

本文書は、Micron におけるインシデント管理に関連するすべての事項に準拠するための最低要件を定めるものです。これには以下が含まれます。

- Good Catch
- インシデント報告
- グローバル EHS ファーストアラート
- インシデント調査
- EHS レッスン学習（旧称：継続的改善追跡 - CIT）
- 管轄権を有する当局
- 違反通告
- システムと文書化

2 適用範囲

項目	詳細			
影響を受けるサイト	本文書は、次のサイトに適用されます。 (NMS サイトの分類については、 本文書 を参照)			
	☒ FE	☒ AT	☒ TD	☒ 工事エリア
	☒ NMS レベル 1	☒ NMS レベル 2	☒ NMS レベル 3	☒ NMS レベル 4
対象者	サイトリーダーシップチーム、サイト EHS、およびすべての Micron チームメンバー			

項目	詳細
適用について	サイトは、改訂履歴に記載されている適合日までに、この基準で概説されている要件を完全に満たすものとします。適合性を確認しないと、ehsmoc/に記録および承認された変更管理エントリがない場合に NC が発生する可能性があります。 サイトでは最低限、本基準を遵守するものとします。現地の法令、規制、または顧客固有の要件またはリスクアセスメントによって、より厳しい要件に従う必要があると判断された場合は、サイトはそれらの要件を満たす必要があります。 適用について： - 安全 Good Catch - EHS インシデント管理システム - インシデント報告要件（タイムラインと違反通告を含む） - 調査要件（ニアミスを含む） - EHS 学習した教訓（旧称：CIT または継続的改善追跡） - 管轄権を有する当局（AHJ 訪問要件）

3 役割と責任

これらの特定の役割が存在しないサイトでは、サイトはこれらの役割を、作業/タスクを実行する権限/承認を得た他のチームメンバーに割り当てることができます。

役割	責任
サイト担当副社長および/またはサイトリーダーシップチーム	Good Catch (GC) - サイトでの GC 活動を奨励します。 - 高品質の GC の認識に必要なリソースを提供します。 インシデント報告 - インシデント報告エスカレーションプロセスの最低限の期待事項を認識します。 - 経営陣へのあらゆる初期コミュニケーションには、グローバル EHS が含まれます。 「高度 - 重大度 3」および「危機的 - 重大度 4」の範囲に該当するインシデントについて、インシデントの概要、是正措置などを、フロントエンドリーダー

役割	責任
	ーシップチーム/組立・テストリーダーシップチーム隔週スタッフミーティングで共有します。 インシデント調査 - 重大度の高いケースの調査をサポートするものとし、これには、調査チームの特定、特定された緩和措置に必要なリソースの特定、および緩和措置に必要なリソースの特定、円滑化のためのグローバルチームへのエスカレーションが含まれる場合があります。 - 特定された是正および予防措置が、EHS 管理レビューにおける有効性検証プロセスを通じて適切に支援されていることを検証します。 EHS 学習した教訓（EHSLL） - サイトリーダーシップは、EHSLL に対応してサイトが取った対応や行動を検証するよう要請されることがあります。 管轄権を有する当局（AHJ） - サイトでの AHJ 訪問について情報を取得しておきます（マネジメントレビュー、週次オペレーションレビューなど）。 違反通告（NOV） - AHJ によってサイトに発行されたあらゆる NoV について把握しておきます。 - サイトレベルで発行された NoV を解決するために、ステークホルダーに必要なリソースを提供します。 - グローバル EHS または法務部門に NoV をエスカレーションし、支援を要請します。
グローバル EHS	Good Catch (GC) - GC システムとそのデータベースを管理および維持します。 - 高品質の GC の認識に必要なリソースを提供します。 インシデント報告 - インシデント管理ソフトウェア、データベース、およびその使用に必要なライセンスを維持します。 - グローバル EHS ファーストアラートまたは EHS イベント共有を Micron ネットワークに発行します。 - 本基準および Micron のインシデント管理に関連するすべてのリソースを維持します。 - グローバルな適用可能性についてインシデントをレビューします。 - 必要に応じて、EHS 学習した教訓（旧称：継続的改善追跡または CIT）を発行および追跡します。

役割	責任
	• 必要に応じて、グローバル安全評議会またはその他のフォーラムでファーストアラートのレビューを管理します。 インシデント調査 • 「危機的 - 重大度 4」の EHS イベントについては、グローバル EHS ディレクターが、インシデント調査に参加するグローバル EHS チームのメンバーを特定し、リーダーシップ、サポート、または専門知識を提供することがあります。このような場合、具体的な責任には以下が含まれることがあります。 ◦ 調査の一貫性と質を確保すること ◦ サイト調査チームとグローバル EHS リーダーシップチームとの間の連絡役を務めること ◦ 再開基準を決定すること ◦ 継続中の調査に必要なリソースの要求を支援すること • グローバル EHS 内部監査中に、高重大度インシデント（高度 -3、危機的 -4、PLAI および LAI）の是正および予防措置の有効性を検証すること。 EHS 学習した教訓（EHSLL） • Micron ネットワークにポジティブまたはネガティブな影響を与える可能性のある潜在的な EHSLL（内部または外部）を特定します。これには以下が含まれる場合があります。 ◦ Micron ネットワーク内のインシデント ◦ 半導体業界内のインシデント ◦ 半導体業界とは関係ないが、学習価値の高い事例。 • EHSLL ビジネスプロセスを維持し、必要に応じて更新します • EHSLL の発行、更新（必要に応じて）、およびクローズの追跡を行います。 • EHSLL のクローズ時に、必要に応じて基準、トレーニング教材、その他のリソースの更新を確実に行います。 管轄権を有する当局（AHJ） • サイトでの AHJ 訪問について把握しておきます（別名：EHSALERT） 違反通告（NOV） • AHJ によってサイトに発行された NOV について把握しておきます（別名：EHSALERT） • 必要に応じて、NOV のクローズ支援に必要なリソースを提供します。

役割	責任
サイト EHS./EHS 代表者またはステークホルダー	Good Catch (GC) • サイトの GC システムの有効性と整合性を管理および維持します。 • チームメンバーによる GC の使用を奨励します。 • 高価値 GC を提出し特定したチームメンバーに対してはそのことを評価していることを示すべきです。 インシデント報告 • インシデント報告要件と重大度表の使用法を理解します。 • サイトレベルを超える「高度 - 重大度 3」および「危機的 - 重大度 4」の EHS イベントのすべてのコミュニケーションにはグローバル EHS が含まれることを確認します。 • EHS イベントによる証拠の収集と保全に必要な経験とトレーニングをサイト EHS チームメンバーに提供します。 • 本基準に規定されたスケジュールに従って、EHS イベントを EHS 管理システムデータベースに入力し、重大度のしきい値に達した時点で、グローバル EHS 通知を発行します。 • EHS 管理システムデータベースでサイトの EHS イベントデータを管理および更新します。 • インシデント封じ込めおよび初期アクション進捗について関連する更新情報を提供します。 • グローバル EHS インシデント重大度ランキング表で概説されている基準に該当する EHS イベントについて、サイト副社長（またはサイトリーダーシップ）に警告/通知します。 インシデント調査 • EHS サイト代表者が、イベントの重大度レベルに基づいて調査を管理するために訓練を受け、かつ経験を有していることを確認します。 • 調査のサポート・管理リソースには以下が含まれることがあります。 ○ 調査促進のための EHS チームメンバーの特定。 ○ 特定された根本原因（発生、逃避、および体系的）の正確性のレビュー。 ○ 是正および予防措置（CAPA）計画が特定された根本的原因に正しく対応していることを確保します。 ○ PSM インシデント調査の引き継ぎとサポート ○ 必要な場合にはステークホルダーと協議して再開基準を決定します。 ○ 特定されたアクション項目実施の検証を促進します。 ○ 特定されたアクション項目有効性の検証を促進します。 • Micron 8D プロセスに従って調査プロセスが確実に進行するようにします。

役割	責任
	• 必要な場合にはグローバル EHS のサポートを求めます。 • 必要な場合には規制機関と Micron との間でのサイトに関する連絡役となります。 • 必要な場合には法務部門と相談します。 EHS 学習した教訓 (EHSLL) • EHS ステークホルダーは、すべての EHSLL アクション項目に対するすべてのサイト活動と対応を調整します。 • EHSLL がサイトから発生した場合、イベント、根本的原因、および CAPA に関する情報を提供します。 管轄権を有する当局 (AHJ) • サイトでの AHJ 訪問について、グローバル EHS と法務部門に通知します (別名: EHSALERT) 違反通告 (NOV) • AHJ によって発行された NoV について、グローバル EHS、法務部門、およびサイトリーダーシップに通知します (別名: EHSALERT) • サイトで発行された NoV を解決するために、ステークホルダーに必要なリソースを提供します。
エリアオーナー またはスーパーバイザー	Good Catch (GC) • チームメンバーが提出した GC をレビュー、承認、およびクローズします。 • チームメンバーによってクローズされていない GC のクローズを促進します。 インシデント報告 • EHS イベントを可能な限り速やかにサイト EHS に報告します。 インシデント調査 • サイト EHS とステークホルダーのサポートを受けて、EHS 調査をリードし管理します。
チームメンバー	Good Catch (GC) • 提出前に特定された GC の解決を試みます。 • 提出前に GC を解決するためにスーパーバイザーと協力します。 インシデント報告 • ニアミスを含む、自身または自身のエリアで発生したすべての EHS イベントをサイト EHS またはスーパーバイザーに報告します。 インシデント調査 • 調査プロセスをサポートします。

4 用語と定義

用語	定義
是正（または封じ込め措置）	根本的原因が特定され排除されるまで、検出された不適合またはその他の望ましくない状況を排除するための行動。 これらの措置は長期的な解決策ではありません。
CA（是正措置）	検出された不適合またはその他の望ましくない状況の原因を排除し、再発を防ぐための措置。
PA（予防措置）	潜在的な不適合またはその他の潜在的に望ましくない状況の原因を排除し、その発生を防ぐための措置。
疾病	職場における物理的、化学的、または生物学的物質への暴露によって発生し、正常な生理的機序が影響を受け、労働者の健康が損なわれた状態。これには、皮膚疾患、呼吸状態、中毒、難聴、熱中症、放射線被爆等が含まれるが、これらに限定されない。

用語	定義
インシデント 安定化	インシデント安定化とは、すべての緊急対応活動が完了し、現場で指揮を執る ERT リーダーによってインシデントエリアへの立ち入りが安全と判断された時点と定義される。
EHS イベント	EHS イベントとは、本基準の報告要件を満たす、害や傷害につながる可能性のある観察可能な出来事や状況を指す広義の用語。 例:EHS イベントには以下が含まれる可能性があります。 • 滑りやすい床 • ながら歩き • 開いた酸容器
EHS インシデント	EHS インシデントとは、クローズするために管理および調査するためのリソースが必要となる、有害なまたはヒヤリ・ハット事例につながった EHS イベントを指す。 例:EHS インシデントは以下が含まれる可能性があります。 • 床で滑って怪我をした人 • ながら歩きにより転倒した人 • 開いた酸容器による化学物質の漏洩
怪我	転落、衝突、人間工学上の怪我など、ある種の外傷的事象（急性または慢性）による身体への損傷。
ニアミス	状況がわずかに違えば、人々への損害、財産、機器または環境への損害、あるいはプロセスの損失を招く可能性があった、望ましくない事象。
根本原因分析	インシデントを引き起こした、または引き起こす可能性のある作業活動またはプロセスの根本的な原因または欠陥を特定するために使用される認められた分析手法。Micron の場合、重大度レベル 3 および 4 のイベントには 8D プロセスの使用が必須となり、これには根本原因分析が含まれます。重大度 1 および 2 のイベントの場合、使用する根本原因分析の種類はサイトの裁量に任されます。

5 参考文献

内部参考資料	リンク
プロセス安全性イベントティア評価ツール	WFT6NJ3WDNAT-65211962-2325
EHS アラート	EHS Alert Notification SharePoint

内部参考資料	リンク
ServiceNow インシデント管理システム	ホームページ
インシデント管理コラボレーションサイト	インシデント管理 SharePoint
グローバル EHS – 職業保健基準	グローバル EHS - 職業保健基準
グローバル EHS – 緊急対応基準	グローバル EHS – 緊急対応基準

外部参考資料	リンク
なし	なし
なし（外部参考資料にリンクがない場合）	

6 文書管理

項目	詳細
ECN ファシリティ	CORP EHS
ECN 領域	EHS 安全
承認	本文書は以下によって承認される： GLOBAL_EHS_SEAL_LT
通知	本文書に対する変更通知は、以下のとおり Micron エンジニアリング変更通知（ECN）プロセスを通じて管理される。 <u>リーダーシップチーム</u> • FLT • ATLT <u>EHS</u> • GLOBAL_EHS • GLOBAL_EHS_MANAGERS • GLOBAL_EHS_SEAL_LT • GLOBAL_EHS_TEAM_MEMBERS • GLOBAL_EHS_NMS_MANAGERS • GSC • ENVIRONMENTAL_COUNCIL • GLOBAL_EHSAUDIT_COUNCIL • GLOBAL_EQUIP_REPS • GLOBAL_ERT_REPS • GLOBAL_IH_REPS • GLOBAL_OH_REPS • GLOBAL_ERGO_REPS <u>PSM</u> • PSM • PSM_CORP • PSM_MGR <u>施設</u> • GLOBAL_FAC_MANAGERS • GLOBAL_FAC_NOTIFY • GLOBAL_FAC_NOTIFY • GLOBAL_FAC_PM_MANAGERS • GLOBAL_FAC_CONSTRUCTION_MGRS • GFTT_LEADS • WW_FACILITIES_MANAGERS_APPR
レビュー	本文書のレビューは、少なくとも隔年（2年に1回）、グローバル EHS/PSM により定期文書レビュー（PDR）プロセスを通じて実施される。

7 改訂履歴

改訂	改訂 日	内容	要請者	適合日
0	2024 年 11 月 14 日	ECN 番号：101175924 第一版	DZULEZWAN	

8 基準

Micron は、強固な環境・健康・安全管理システムのための EHS インシデント報告と調査の重要性を認識しています。インシデント報告と調査の体系的な方法を遵守することで、インシデントタイプのパターンを特定および軽減し、Micron ネットワーク全体での潜在的な改善点を明らかにすることができるようになります。

これを実現するために、Micron は 2 つの EHS イベント解決プロセスを導入しており、それぞれ異なるステークホルダーによって管理されます。2 つの解決プロセスの主な違いは以下の通りです。

- EHS イベントの実際の発生
 - イベントがまだ発生していない場合、Good Catch プロセスが適用されます
 - イベントがすでに発生している場合、EHS インシデント管理プロセスが適用されます
- ステークホルダー
 - Good Catch はチームメンバー主導の解決プロセスです
 - EHS 管理システムはプロセス主導の解決プロセスです（例：8D）

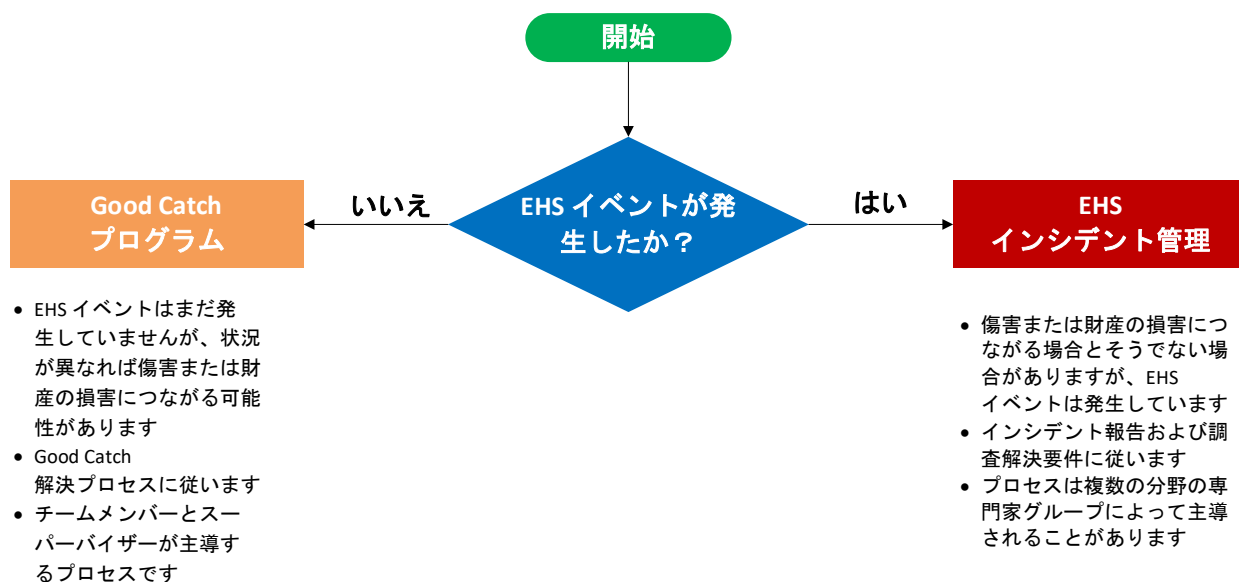


図1：EHS イベント解決プロセスフロー

8.1 EHS Good Catch プログラム

Good Catch プログラムの目的は、安全意識と前向きな安全文化を、安全指導と安全に対する説明責任を通じて育むことです。

Good Catch は、対処または介入しなければ危害や財産の損害を引き起こす可能性のある状態または行動と説明することができます。

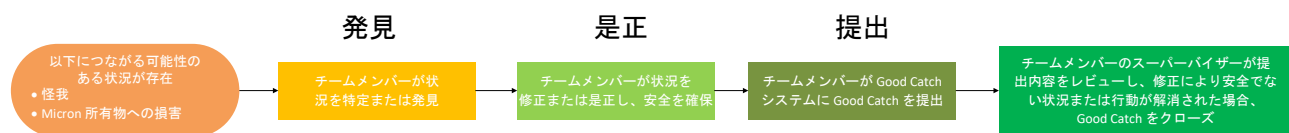


図2：Good Catch プロセスフロー

8.1.1 EHS Good Catch 要件

EHS Good Catch の提出とクローズの基準は以下の通りです。

- Micron の製造サイトまたは非製造サイトで、危険な状況または不安全行動が認められたが、インシデントは発生していない場合。Micron ネットワークへのアクセスが制限されているため、Micron の建設開発や請負業者はこのプログラムは利用できません。
 - 請負業者の場合、Micron ホストが代わりに Good Catch を提出できます。
- 潜在的な怪我や財産の損害を防ぐためには、介入または行動が必要です。
- Good Catch を提出する個人は、危険な状況を是正するか、安全でない行動を指導するよう努めるものとします。
- Good Catch の提出者は、状況または行動が是正されたことの証拠を提供するものとします。
- チームメンバーが Good Catch を解決できない場合、EHS インシデントが発生しないよう暫定措置を講じなければなりません。
- チームメンバーが特定の状況により Good Catch を解決できない場合、スーパーバイザーは関連するステークホルダーと協力して Good Catch を解決するものとします。
- チームメンバーのスーパーバイザーは、チームメンバーが提供した解決策が実行可能で実用的であることを確認してから、Good Catch を受け入れてクローズするものとします。

- すべての EHS Good Catch は、提出日から 10 日以内にクローズするものとします。
- Good Catch の解決に長いリードタイムが必要な場合、ステークホルダーは移行のための適切な追跡システム（ETI、FMS、ETC など）を確立するべきです。例えば、機器の部品注文に 4 週間のリードタイムが必要な場合、ETI 追跡番号または施設作業指示書を含む解決策を Good Catch に入力し、その後 Good Catch をクローズすることができます。

8.2 EHS インシデント管理

EHS インシデント管理は、Micron のあらゆる場所（建設サイトを含む）で発生した EHS イベントの報告と調査を支援する包括的かつ体系的な手順です。

以下に記載するすべての規定は、すべての緊急対応措置またはタスクが実行され、EHS インシデントが制御下に置かれた（安定化）後にのみ適用されます。

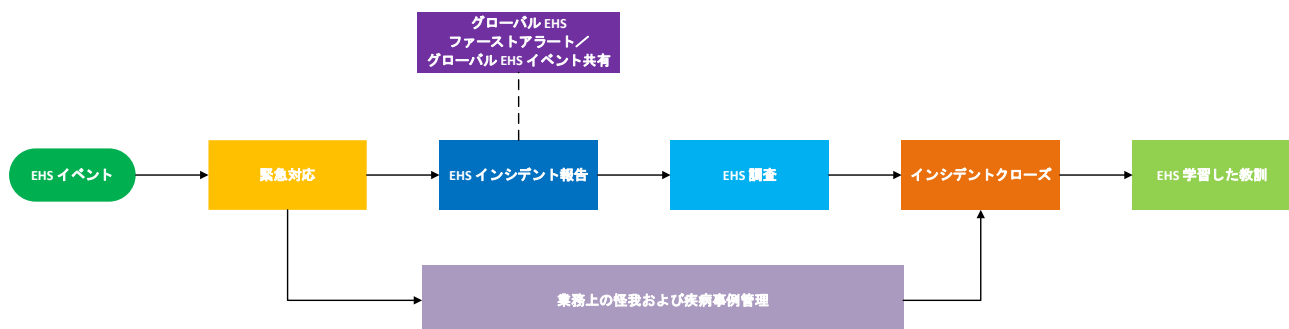


図3：EHS インシデント管理ビジネスプロセス

8.2.1 緊急対応

最低限、以下の場合には緊急対応チームの出動が必要であり、すべての EHS 問題が対処されるまで現場に赴いてインシデント指揮を確立するものとします。その後、機器/ エリアの所有者に現場を引き渡し、復旧または調査を開始することができます。

- 化学物質（システムまたは容器）、ガス（システムまたは容器）、廃棄物ストリーム、水ベースのシステム（PCW など）などの一次封じ込めの喪失危険（有毒および可燃性）ガスおよび化学物質の放出
- ガス警報、漏洩警報、またはその他の TGM 警報の作動
- ただし「トラブル」または保守警報を除く。
- 火災警報および/または消火システムの作動
- 煙、火災、エネルギー放出、または爆発の報告
- EHS に影響を与える気象関連の危険および自然災害
- 車両事故
- 停電またはシステム障害
- 臨床環境外で発生する怪我や疾病を含む医療緊急事態。
- 原因不明の臭い
- 高所作業救助、閉所、溝、閉じ込め（英語での別称：人対機械）、エレベーター救助などを含むがこれらに限定されない救助状況。
- 化学物質または廃棄物ストリームのサイト内、水路、または大気への放出
- 血液または体液の存在。緊急対応を必要としない場合もありますが、ERT は支援をおこない、発生を文書化するべきです。
- AMHS トラックダウン、サプライヤーからの材料（例：ヘリウムなどのガス）の入手不能など、長期的な影響を引き起こす生産への影響
- 建物からの人員の避難。
- Micron の出荷に関連する化学物質\ガスを含む輸送（米国：DOT）インシデントで、サイトに報告されたもの。
- 個人の怪我や財産の損害を引き起こす可能性があった、制御室に報告されたニアミスイベント。
- 訓練を受けた緊急要員による即時の注意が必要と認識される緊急事態または EHS ハザード。
- 施設が運営する場所における規則により要求されるその他のイベント。

8.2.2 業務上の怪我および疾病事例管理

すべての業務関連の怪我および疾病は、ServiceNow インシデント管理システムを通じて報告され、グローバル EHS - 職業健康基準の要件に従って、チームメンバーの回復進捗、医療ケア、および制限付き就業日をケースクローズまでモニタリングしなければなりません。

8.2.3 グローバル EHS インシデント報告

以下に記載する規定は、「高度 - 重大度 3」または「危機的 - 重大度 4」のインシデントにのみ適用されます。

他のすべての重大度レベルはこの要件から除外されますが、レベルのエスカレーションがある場合（例えば、怪我の影響により「中度 - 重大度 2」インシデントが「高度 - 重大度 3」にエスカレートした場合）は除きます。

8.2.3.1 グローバル EHS 傷害報告分類

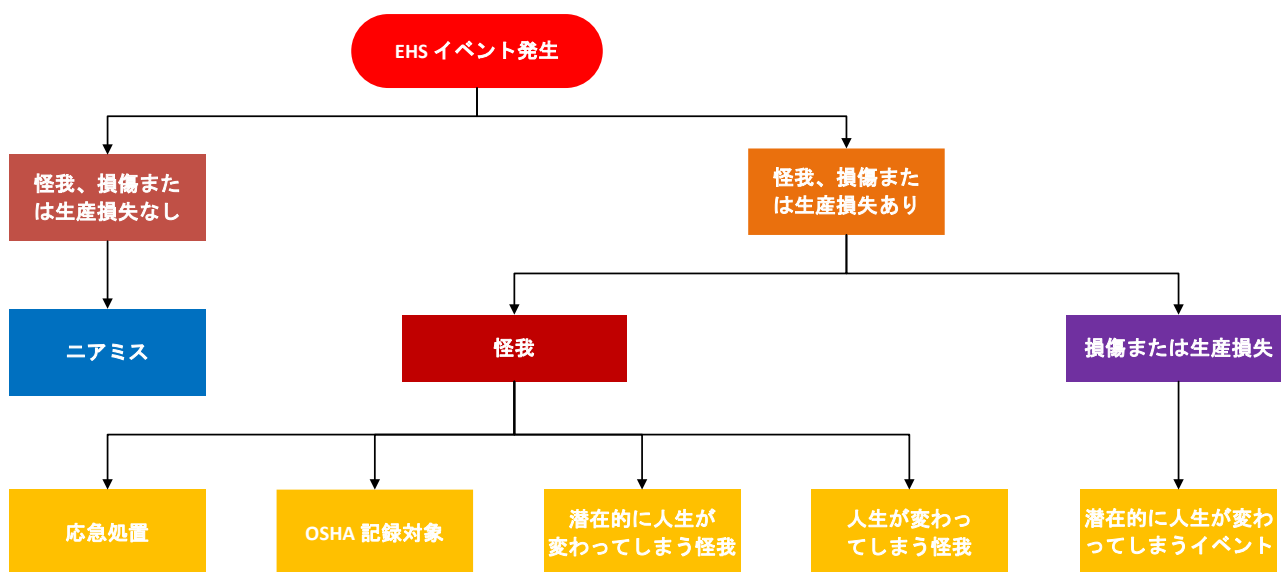


図4：傷害の分類

● ニアミス

- 状況がわずかに違えば、人々への損害、財産、機器または環境への損害、あるいはプロセスの損失を招く可能性があった、望ましくない事象。
- 将来的に怪我、損害、または生産損失を引き起こさないようにするために、根本原因分析が必要となる場合があります。

● 応急処置

- 応急処置とは、軽度または重度の病人や怪我を負った人に対して行われる初期かつ即時の援助と定義されます。この処置は、専門的な医療サービスが到着するまでの間、生命を維持し、症状の悪化を防ぎ、回復を促進するために施されます。

- 傷害の分類には、応急処置後に行われた医療ケアを考慮して決定されるものとします。応急処置（OSHA によって規定されているもの）を超える治療が必要な場合、その分類をより高い重大度に分類します。
- **OSHA 記録対象**
 - 「OSHA 記録対象」とは、雇用主が労働安全衛生局（OSHA）のガイドラインに従って記録することが義務付けられている業務関連の怪我、疾病、および死亡事故を示す用語です。傷害や疾病が一般的な記録基準を満たし、その結果として以下のいずれかが発生した場合、記録対象とみなされます。
 - 死亡
 - 欠勤
 - 制限付き作業または職務転換
 - 応急処置を超える医療処置
 - 意識喪失
- **潜在的に人生が変わってしまう怪我（pLAI）**
 - 人生が変わってしまう可能性があった怪我。
- **人生が変わってしまう怪我（LAI）**
 - 人生が変わってしまう怪我とは通常、非常に重篤であるために永久的な障害、持続的な健康問題、および/または寿命の短縮につながるような怪我です。
 - このような怪我は外傷性傷害または壊滅的傷害としても知られ、内部臓器、身体機能または身体部位の永久的または長期的な障害や機能喪失につながる可能性があります。
 - これらの怪我はしばしば深刻なインシデントや事故の結果として生じたものであり、その根本原因を理解することは効果的な安全対策および予防戦略の実施に役立ちます。
- **潜在的に人生が変わってしまうイベント（pLAE）**
 - 壊滅的または人生が変わってしまう怪我につながる可能性があった損害またはプロセス損失を引き起こしたイベント。

8.2.3.2 グローバル EHS インシデント報告プロセスフロー

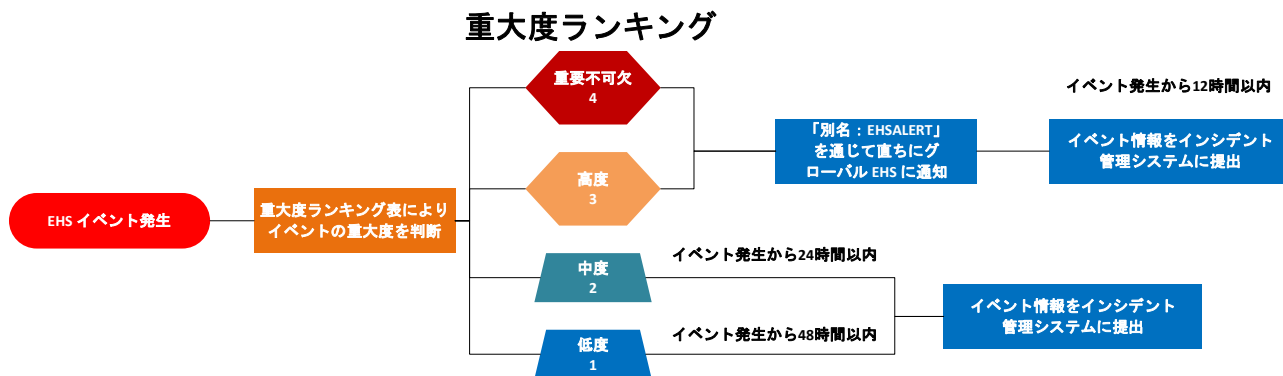


図5：インシデント報告ビジネスプロセス

- すべての Micron サイトは[付録 1：インシデント重大度表](#)を参照してイベントの重大度ランキングに関するガイドラインを確認する必要があります。インシデント重大度表は、過去に発生した一般的なイベントと、対応する指定重大度レベルの例を含む参照資料です。
- 一つのイベントが複数の結果をもたらした場合、その中で最も高い重大度の結果がインシデント全体の重大度を決定します。
- 疑問がある場合は常により高い重大度を選択して報告してください。

8.2.3.3 報告の一般要件

- 🔗「高度 - 重大度 3」および「危機的 - 重大度 4」の重大度の範囲に該当する EHS イベントの場合
 - これらの基準を満たす EHS イベントについて把握した場合、サイトは EHS プレアラートポータル（別名：EHSALERT）でグローバル EHS プレアラートを提出するものとします。
 - アラートには重大度と EHS イベントの簡単な説明のみが必要です。
- 🔗「高度 - 重大度 3」および「危機的 - 重大度 4」の重大度の範囲に該当する EHS イベントについてのコミュニケーション
 - サイトからリーダーシップまたはエグゼクティブチームへのコミュニケーションには、グローバル EHS を含めるものとします。

🔗重要なタイムライン

重大度	EHS プレアラート	インシデント管理システム
危機的 - 4	即時	12 時間以内に提出
高度 - 3	即時	12 時間以内に提出

中度 - 2	不要	24 時間以内に提出
低度 - 1	不要	48 時間以内に提出

表1：インシデント報告ビジネスプロセス

- 外部報告要件

- サイト EHS は、報告に関する規制上の基準を満たすインシデントが発生した場合、管轄権を有する当局へのコミュニケーションと報告を調整するものとします。
- サイト EHS は、規制上の報告について指定されたチャネルを通じてサイトリーダーシップチームおよびグローバル EHS に通知するものとします。

- EHS-PSM コラボレーション

- サイト EHS は、サイトで発生するプロセス関連イベントについてサイト PSM に通知するものとします。
- サイト EHS は、[プロセス安全イベント評価ツール](#)を使用してサイト PSM の関与を判断します。

8.2.4 グローバル EHS ファーストアラートおよびイベント共有

グローバル EHS ファーストアラートまたはイベント共有は、Micron グローバルネットワークへの重大度の高い EHS イベントの状況更新です。

適用対象となる場合または関連性がある場合、グローバル EHS は Micron グローバルネットワークに対して、グローバル EHS ファーストアラートまたはイベント共有を送信する責任を負います。

ファーストアラートまたはイベント共有は、イベントに関する関連情報をサイトにて収集するために必要な初期調査を促進するため、グローバル EHS への提出から 2 営業日以内にリリースされます。

8.2.4.1 ファーストアラートおよびイベント共有の一般要件

- EHS イベントは、Micron ネットワーク内からまたは外部ソースから発生することがあります。
- 「危機的 - 重大度 4」の EHS イベントは自動的にグローバル EHS ファーストアラートとして認定されます。
- 「高度 - 重大度 3」の EHS イベントはネットワークへの関連性がレビューされます。

- サイト EHS は、ファーストアラートまたはイベント共有に含まれる詳細、およびその後の更新情報を、適切なステークホルダー（請負業者を含む）に配信する責任があります。これは、サイト EHS 委員会、運営レビュー、管理レビューなどの適切なチャネルを通じて行うことができます。

8.2.5 グローバル EHS インシデント調査

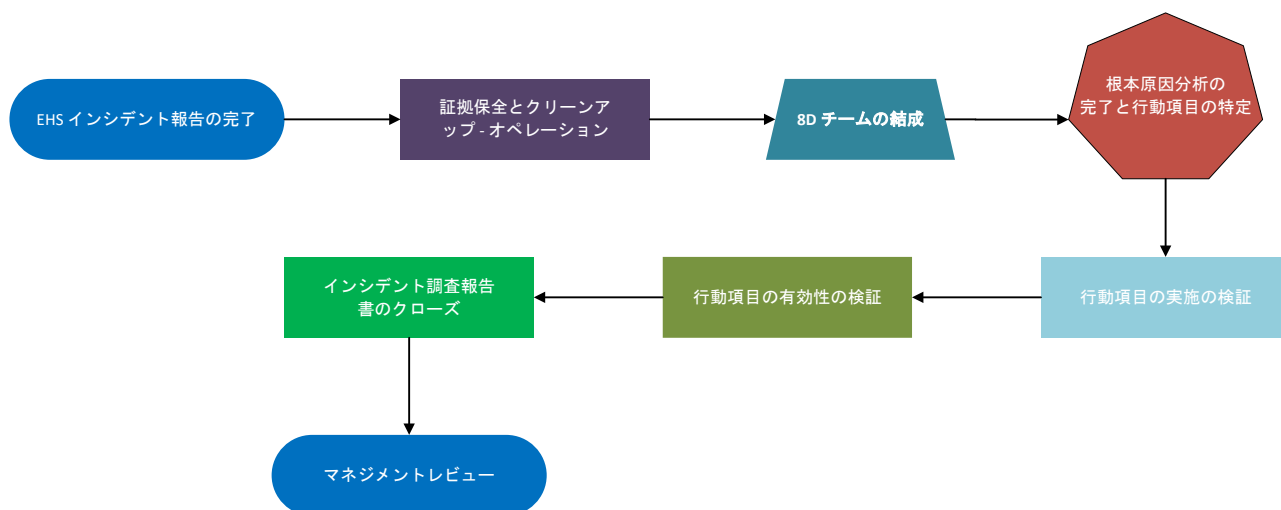


図6：インシデント調査ビジネスプロセス

8.2.5.1 EHS インシデント調査の一般要件

重大度カテゴリ	必要なアクション	
	グローバル EHS への 8D の提出	根本原因分析
危機的（4）	必須	8D プロセスの一部
高度（3）	必須	8D プロセスの一部
中度（2） （LAI の可能性あり）	必須	8D プロセスの一部
中度（2） （LAI の可能性なし）	不要	必須
低度（1）	不要	不要
ニアミス （LAI の可能性あり）	必須	8D プロセスの一部

表2：インシデント調査要件

- グローバル EHS インシデント調査プロセス

- 8D の基準を満たすすべての EHS イベントは、Micron 8D プロセスに従うもの
とします。
- 8D チームのチームリーダーは常に、負傷者のスーパーバイザーまたは部門長、
あるいは機器所有者のスーパーバイザーとすることとします。
- サイト EHS はチームリーダーを支援して調査プロセスに便宜を図るものとします。

- インシデント調査の重要なタイムライン

- 通常の複雑さを有するすべての重大度カテゴリについて
 - 根本的原因分析はインシデント安定化から 2 週間または 14 日以内に完了し
なければなりません。
- 複雑な状況を有する「高度（重大度 3）」および「危機的（重大度 4）」重大度レ
ベルについて
 - 根本原因分析はインシデント安定化から 30 日以内に完了しなければなり
ません。
- 通常の複雑さと複雑な状況の決定についてはグローバル EHS 代表者と協議します。
- 通常業務への復帰 - 再開基準
 - 通常業務への復帰には設定されたタイムラインがなく、以下に依存します
。
 - 再開基準がステークホルダーによって決定され、再開許可を受けて
いること。
 - 再開基準には、限定アクセス、一時的封じ込め、中間モニタ
リン、または定期チェックなどの短期安全対策が考慮されることが
あります。これら短期安全対策を恒久的なものとはしないものとし
ます。
 - 証拠保全のためのエリア封鎖が完了していること。

重大度カテゴリ	再開の許可
危機的	グローバル EHS または PSM と協議の上、サイト EHS または PSM マネージャー
高度	少なくとも、サイト EHS または PSM マネージャー（サイト担当副社長、法務担 当者、グローバル EHS または PSM に問い合わせることができます）。
中度	少なくともエリアマネージャー/スーパーバイザーまたはサイト EHS チーム
軽微	

- **行動項目の実施の検証**

- インシデント調査から生じたすべての行動項目は、その実施が行動項目の元々の目的を満たしていることを検証しなければなりません。
- 行動項目がその意図した目的を果たさない場合、それら行動項目の実施中に行われた変更を除き、それら行動項目は元の目的に合わせて修正しなければなりません。
 - 潜在的な欠陥に焦点を当て、それらを是正しながらも、全体的な目標を達成する必要があります。
 - 行動項目の実施は、その意図した目的を満たしません。
 - 状況により、行動項目を実施することが合理的でも実用的でもありません。
- 是正/予防措置の実施から 7 日以内に完了することとします。

- **行動項目の有効性の検証**

- 実施の検証が完了したすべての行動項目は、EHS イベントを引き起こした既存のリスクを制御する上での有効性を検証することが必須となります。
- 有効性の検証に失敗した行動項目は、調査チームが特定した根本原因を軽減するために修正または変更し、プロセスを繰り返すものとします。
- 行動項目の実施の検証から 365 日以内に完了するものとします。

- **インシデント報告クローズ**

- すべての調査報告は、以下の場合にのみクローズすることとします。
 - 報告で概説されたすべての行動が完了済みであること。
 - 有効性の検証が完了済みであること。
 - すべての情報がインシデント管理システムで更新済みであること。
- ほとんどの EHS インシデントにおいて、怪我およびその後の医療ケース管理は、インシデント報告がクローズされる前に解決されます。医療管理が有効性の検証完了後 6 か月以上続く場合、サイトは EHS イベントの管理レビューをクローズおよび最終化する権限を有します。
- 医療ケース管理中または完了時に、傷害が生活変容傷害にエスカレートしたと医療専門家によって判断された場合、サイトは必要な手続きを行わなければなりません。
 - インシデント調査を再開し、根本的原因およびその後の行動項目が怪我の重大度と一致していることを確認とします。
 - 傷害分類のエスカレーションについて、サイトリーダーシップおよびグローバル EHS に通知します。

- 修正された傷害分類を 12 時間以内にインシデント管理システムで更新します。

8.2.6 グローバル EHS 学習した教訓

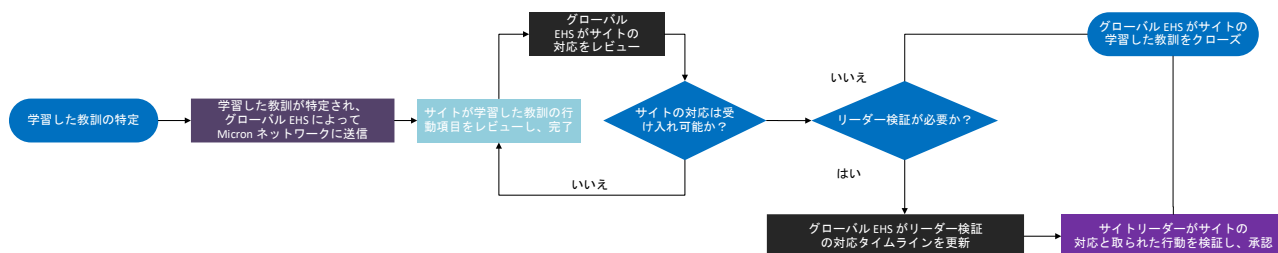


図7：グローバル EHS レッスン学習ビジネスプロセス

8.2.6.1 グローバル EHS レッスン学習の一般要件

- グローバル EHS レッスン学習は以下の条件に基づいてリリースされることがあります。
 - EHS イベント調査が完了している。
 - ネットワーク内で複数サイトに影響するもの
 - 少なくとも「高度 - 重大度 3」の高い重大度ポテンシャル
 - ネットワーク内で発生頻度が高い外部イベント
 - レッスン学習によるサイトフォローアップが必要なファーストアラート
 - 怪我には至らないが複数箇所で個人の安全と健康に深刻な影響を及ぼす可能性がある EHS イベント。
 - 外部監査またはグローバル EHS 監査からのレベル 2 監査結果または注目すべき強み
 - 規制変更、関連当事者、サプライヤーからの安全通信など
- グローバル EHS 学習した教訓は、識別された行動項目が Micron ネットワークに確実に関連するたしたものとするため、EHS イベント調査が完了した後にグローバル EHS によってのみリリースされるものとします。
 - 特定の状況下において、EHS 学習した教訓は調査が完了する前に共有されることがありますが、これは Micron ネットワークに関連するイベントの重大度と緊急性によります。
- EHS 学習した教訓が他のグローバルチーム（例：オペレーションセンターチーム、グローバル施設など）向けのものである場合、そのグループ専用で別の EHS 学習した教訓がリリースされます。

- 行動項目は、Micron ネットワークに対する潜在的なリスクおよびイベントに基づいてグローバル EHS によって識別されます。
- EHS 学習した教訓で強調されたすべての行動項目は迅速に完了しなければなりません。これは、グローバル EHS がネットワーク全体でリスクを検証するプロセスを確実に実施できるようにするためです。
- 延長が必要な場合、サイトは EHS 学習した教訓の期日 1 週間前までに、EHS 学習した教訓所有者に延長を提供することが必須となります。
- EHS 学習した教訓が完了し、レビューされた後、グローバル EHS によって EHS 学習した教訓クローズがリリースされます。情報はそれぞれのフォーラムで共有されます。
 - EHS 学習した教訓のクローズ時に、グローバル EHS プログラムマネージャーは、すべての行動が関連するグローバル EHS 基準に確実に記録されるようにしなければなりません。

8.3 管轄権を有する当局（AHJ）の訪問および違反通告の報告

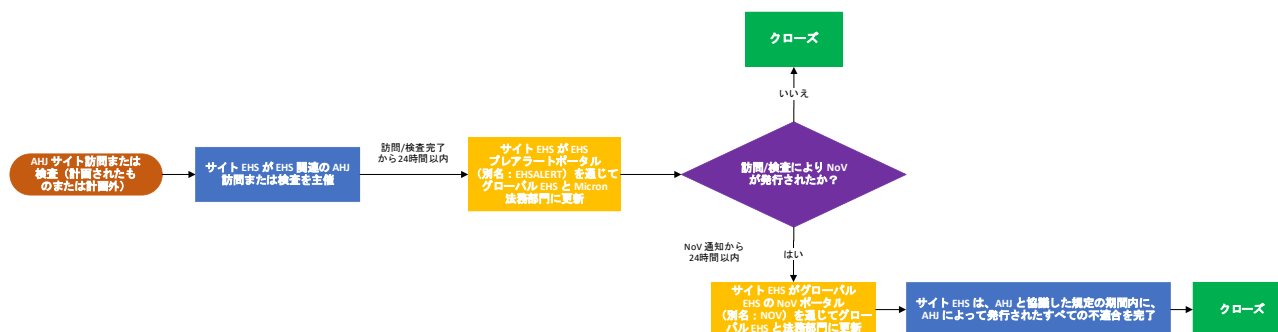


図 8 : AHJ および NOV ビジネスプロセス

8.3.1 管轄権を有する当局の訪問についての報告の一般的な必要条件。

- サイト EHS は、すべての EHS 関連の AHJ 訪問または検査を、サイトで主催し管理するものとします。
- サイト EHS は、管轄権を有する当局（AHJ）のサイト訪問または検査中に特定された潜在的な違反について、文書化し記録を保持しなければなりません。
- サイト訪問または AHJ による検査が完了した後、EHS 検査または規制当局の訪問が NOV（違反通知）につながる可能性が高い場合、サイト EHS は、EHS アラートポータル（別名：

EHSALERT) を通じて、グローバル EHS と法務部門にその訪問または検査について通知する必要があります。

8.3.2 違反通告の報告の一般要件

- サイトは、AHJ からの通知を受け取った 24 時間以内にすべての違反通知を、サイト VP、グローバル EHS リーダーシップ、および Micron 法務部門に報告しなければなりません。
- AHJ との問い合わせ、争議、およびレビューは、グローバル EHS および Micron 法務部門とのコミュニケーションが完了した後に、さらに進めることができます。
- サイトは、違反通知において違反している要件、基準、実践規範、または規制に改めて準拠するために必要な是正および予防措置を策定しなければなりません。
- サイトは、NoV で指定されたタイムラインまたは AHJ との交渉によって合意されたタイムラインを厳密に遵守して準拠を達成しなければなりません。
 - タイムラインの変更について合意がなされた場合、サイトはタイムライン変更を示す AHJ とのコミュニケーション文書を保持しなければなりません。

8.4 インシデント管理システム

グローバル EHS は、すべてのデータ関連の EHS 問題についてのサービスプロバイダーとして、ServiceNow を選択しました。

サイトは、すべての EHS 関連イベントが [表1：インシデント報告ビジネスプロセス](#) で指定されたタイムライン内で ServiceNow インシデント管理システムに提出されることを確実にしなければなりません。

サイトは、インシデント報告重大度テーブルに記載されたすべての EHS イベントを、ServiceNow インシデント管理システムに報告しなければなりません。他のイベントでリストに掲載されていないものや報告要件について不明な場合は、より明確な情報を得るためグローバル EHS に連絡してください。

グローバル EHS は毎月データをレビューし、またサイトは、入力したデータが正確であり、データ管理システムの整合性が維持されていることを検証しなければなりません。

入力されたデータに不一致がある場合、それらは調査され、必要に応じてサイトリーダーシップへエスカレーションされることがあります。

8.5 トレーニング

グローバル EHS は、本基準内のすべてのコアコンピテンシーについてトレーニングを開発または識別しました。

サイトは、トレーニングの適用範囲を確認し、自身の EHS 学習ニーズ分析で必要に応じて自ら割り当てるものとします。

リストに掲載されていないトレーニングについては、サイトのニーズに応じた関連トレーニングを特定するために、サイトがグローバル EHS WD チームに連絡するものとします。

Micron 8D トレーニング

[グローバル EHS – 8D チームリーダー \(global_hs_044\)](#)

[グローバル EHS – 8D チームメンバー \(global_ehs_043\)](#)

インシデント報告

[グローバル EHS ブートキャンプモジュール - 目撃者インタビュー - R&A \(R&A 1186815 多言語\)](#)

9 付録

付録 1：グローバル EHS 重大度表

カテゴリー		なし/低度	中度	高度	危機的	
		重大度 1	重大度 2	重大度 3	重大度 4	
安全性および建設オペレーション	怪我／病気 (EHS 結果)	怪我なし	LAI の可能性のある怪我 またはニアミス	入院を要する怪我（24 時間以上の 入院）	死亡（個人的な病気を含む）	
		応急処置を要する事例	救急室への搬送および治療を要する怪我	同一インシデントで OSHA 記録対象の怪我（応急処置以上の治療を要する怪我）を負った 2 人以上の個人。皮膚炎や熱中症などの病気を含みます。	生命を脅かす怪我	
		個人的な病気		感覚（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）の一時的喪失。永久的な聴力閾値の変化を含みます。	感覚の永久喪失（視覚、聴覚、触覚、嗅覚および味覚）	
		LAI の可能性のない OSHA 記録対象			一般市民の怪我	
		緊急ではないが、至急の治療/病院での治療を要するサイト外での怪我				
	ERT	避難	意図しない建物の避難	システム/モニタリングアラームによる局所的避難	EHS 上影響を伴う建物の避難	EHS 結果の有無にかかわらないサイト全体の避難 EHS 結果の有無にかかわらない複数の建物の避難
			EHS 上影響を伴わない建物の避難			
		火災	煙の臭い、くすぶりまたは小規模な野火	初期段階またはサイト内で外部対応を必要とする火災	スプリンクラーまたは消火システムの放出/作動を引き起こした火災または熱の関わる活動	火災封じ込め用に設計されていないエリアでの化学火災
			火災の関わらない水流アラーム	EHS 上影響を伴わないスプリンクラーまたは消火システムの偶発的な放出	火災封じ込め用に設計された囲い内での化学火災	消火システムが作動しなかった火災
					EHS 上影響を伴うスプリンクラーまたは消火システムの偶発的な放出	外部対応を必要とする構造火災
		救助	EHS 上影響を伴わないエレベーター救助	EHS 上「中度」以下の影響を伴う救助	EHS 上「高度」の影響を伴う救助	EHS 上影響の有無にかかわらず高度な機械からの救出

		EHS 上影響を伴わない高所からの救助	指のみの傷害を伴う単純な機械からの救出	指だけではない単純な機械からの救出	EHS 上「危機的」な影響を伴う救助
		EHS 上影響を伴わないその他の技術的救助	外部対応を必要とする救助または救出		

カテゴリ	なし/低度		中度	高度	危機的
	重大度 1		重大度 2	重大度 3	重大度 4
安全性および建設オペレーション	機器およびプロセス	EHS 上影響を伴わない設備の損傷（自然災害を含む）	EHS 上影響を伴う設備の損傷（自然災害を含む）	EHS インシデントによる生産への重大な中断	1 シフトを超える緩和努力を必要とする、EHS インシデントによる生産への大規模な中断
			EHS インシデントを引き起こす、軽微な予期せぬまたは計画外の化学反応	EHS 上影響を伴う小規模な初期火災を引き起こす、予期せぬまたは計画外の化学反応	EHS 上影響を伴う火災または爆発を引き起こす、予期せぬまたは計画外の化学反応
	建物サイト	わずかな財産損害、または、財産損害なし	インフラストラクチャーに軽微な修復を必要とする損傷	インフラストラクチャーに重大な修復を必要とする損傷	建物が使用不能となる深刻な損傷
	建設		EHS 上影響を伴わない高所作業インシデント	EHS 上影響を伴わないクレーン崩壊	EHS 上影響を伴うクレーン崩壊
			EHS 上影響を伴わない密閉空間インシデント	EHS 上影響を伴わない構造物崩壊	EHS 上影響を伴う構造物崩壊
				EHS 上影響を伴う高所作業インシデント	
				EHS 上影響を伴う密閉空間インシデント	
	その他			EHS オペレーションによるサイト危機管理/BCP チームの起動	「高度」で概説されたものを超える EHS 関連インシデント
				損傷を伴う爆発（爆轟または爆燃）、損傷を伴う急激な圧力放出	サイトでの EHS インシデントをその理由として、サイトオペレーションを中断または停止させることを意図した、規制機関または AHJ からの正式な通知

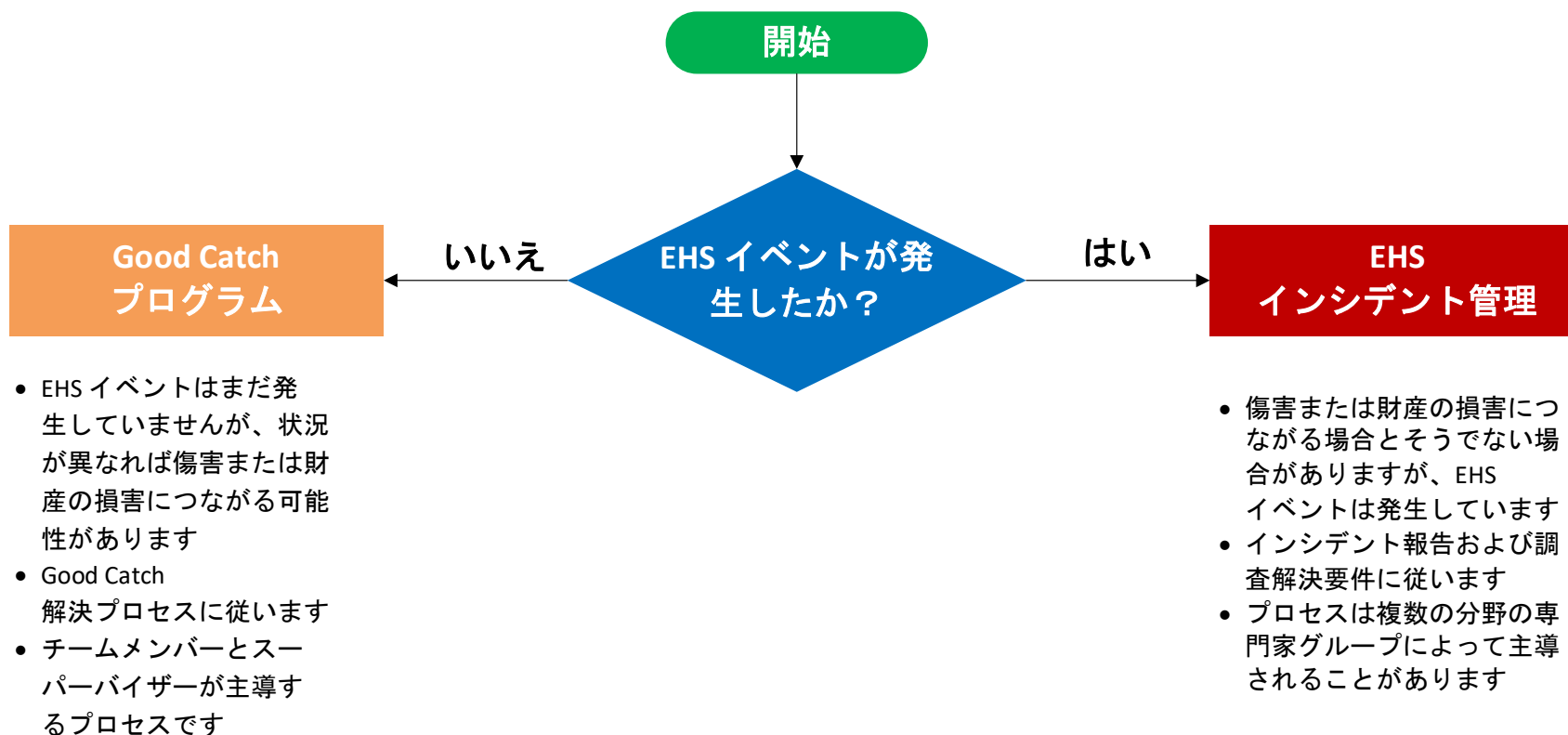
カテ ゴリ	なし/低度		中度	高度	危機的
	重大度 1		重大度 2	重大度 3	重大度 4
				サイトでの EHS インシデントに関 連する規制機関または AHJ のサ イト訪問/検査	EHS インシデントによるサイトでのメディア活動

カテゴリ		なし/低度	中度	高度	危機的
		重大度 1	重大度 2	重大度 3	重大度 4
安全性および建設オペレーション	ガス (TGM/HPM)	IDLH 可能性のない不活性ガス の放出	自動シャットダウンを伴う、アラームを 作動させるガス放出	自動シャットダウンを伴わない、 HIGH-HIGH アラームを作動させる 確認されたガス放出	IDLH 可能性のある雰囲気ま たは環境へのガス放出（酸素 置換を含む）
				PEL/TLV を超える可能性のある 雰囲気または環境への非不活性ガス の放出	
	化学物質の放出 飲料水を除く	製造への影響やインフラストラ クチャへの損害のない非有害物 質の放出。	製造への影響やインフラストラクチャへ の損害を伴う非有害物質の放出。	1 人で 1 時間未満に清掃し、事故前 の状態に復旧/回復できないような 有毒性、可燃性、引火性、または腐 食性（pH≤4 または≥9）の漏出。	建物内で蒸気雲、有毒または可 燃性雰囲気を引き起こす任意の 量の化学物質放出
			1 人で 1 時間未満に清掃し、事故前 の状態に復旧/回復できるような有毒性、 可燃性、引火性、または腐食性（pH≤4 または≥9）の漏出。		
			建物外に出る任意の量の化学物質放出 （環境オペレーション表を参照）		
	規制遵守	環境への放出が許容限度/量内 であるため規制上の影響なし	所轄機関への通知が必要	規制機関または AHJ への通知を必 要とする環境への放出	許容/報告可能量を超え、敷地外

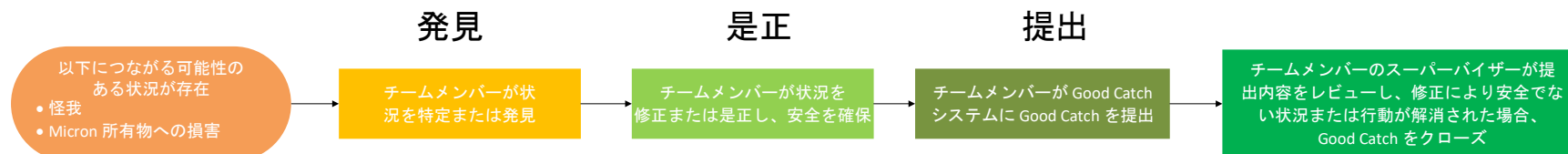
	環境への放出がサイト内に封じ込められている	サイト境界内に封じ込められ、短期的な影響を伴う放出	敷地外に至る環境への放出（無許可または限度超過）	サイト境界を超えて即時に目に見える影響を伴う、大気／水／土壌への重大な放出
	規制限度／量の超過を引き起こさない、除去／処理システムの問題		無許可または限度を超えた環境への放出により規制機関または AHJ によって執行された違反通告	水域、植物相、動物相（陸上または水生/海洋）への実際の/目に見える影響
	地方当局への通知義務のない環境への放出		無許可または限度を超えた環境への放出により規制機関または AHJ によって執行された違反通知	必須の改善計画を伴う潜在的な長期的影響
			メディア露出の有無にかかわらず潜在的な公衆への影響	

付録 2：拡大 IMS ビジネスプロセスフロー

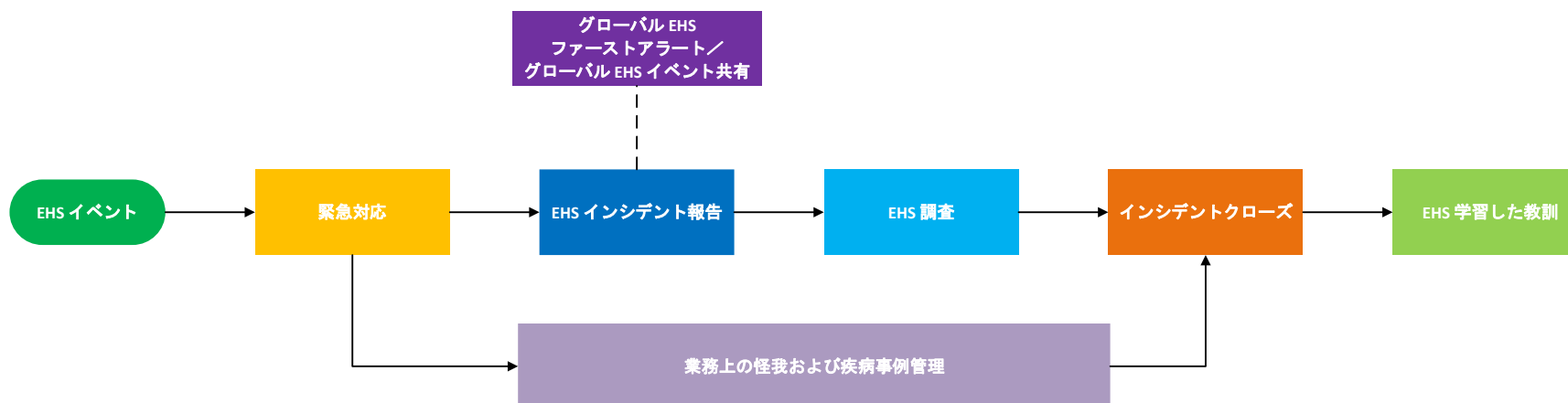
1. EHS イベントプロセスフロー



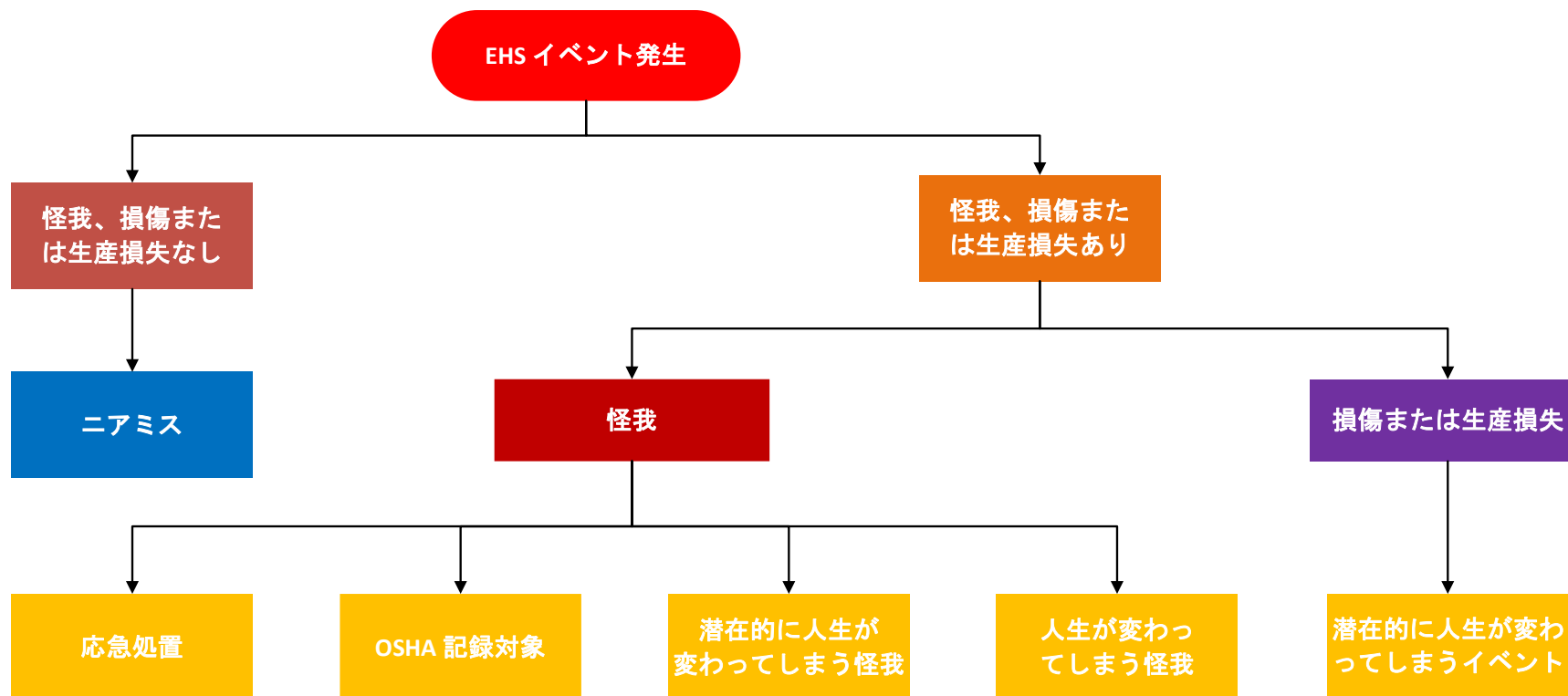
2. Good Catch ビジネスプロセス



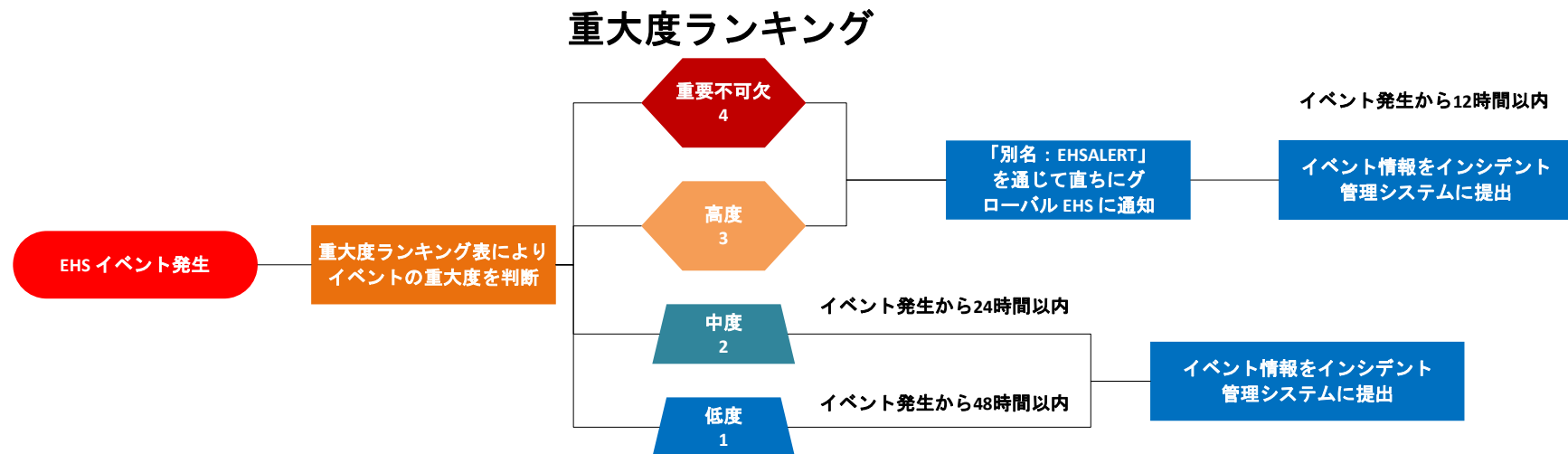
3. インシデント管理ビジネスプロセス



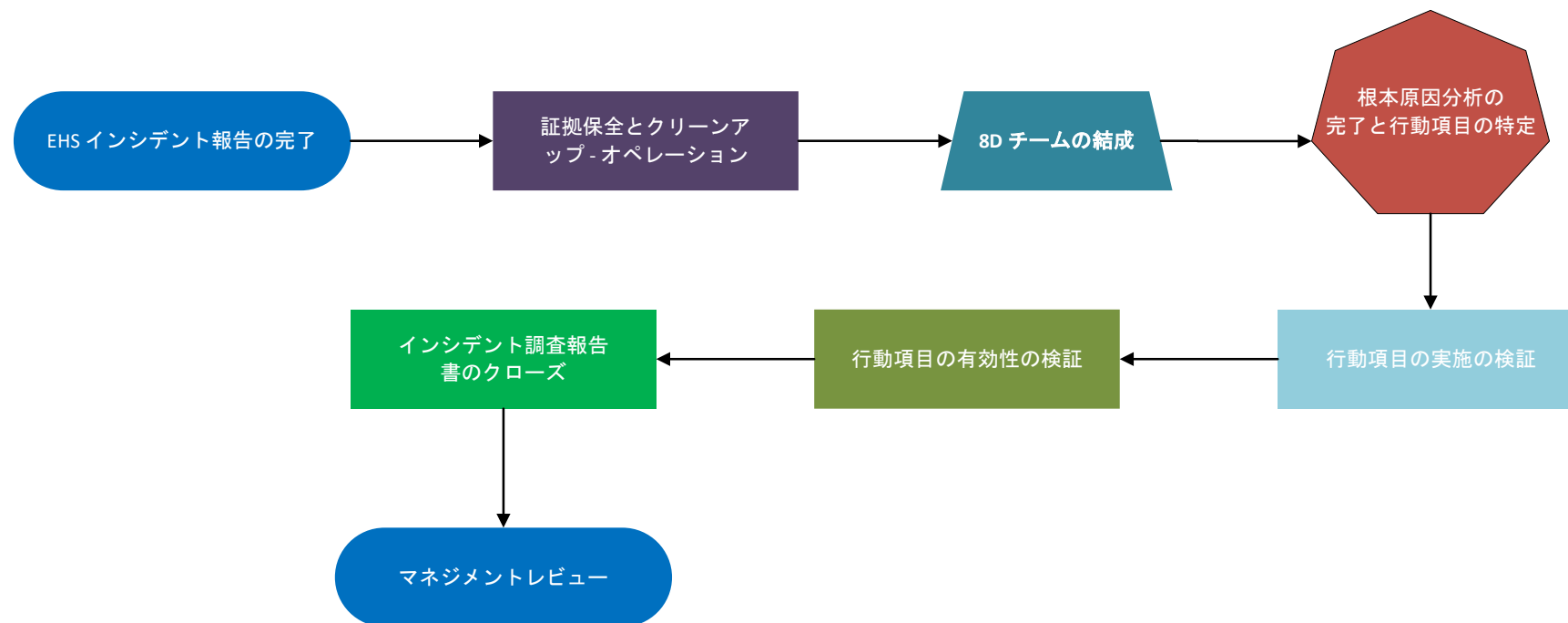
4. 傷害の分類



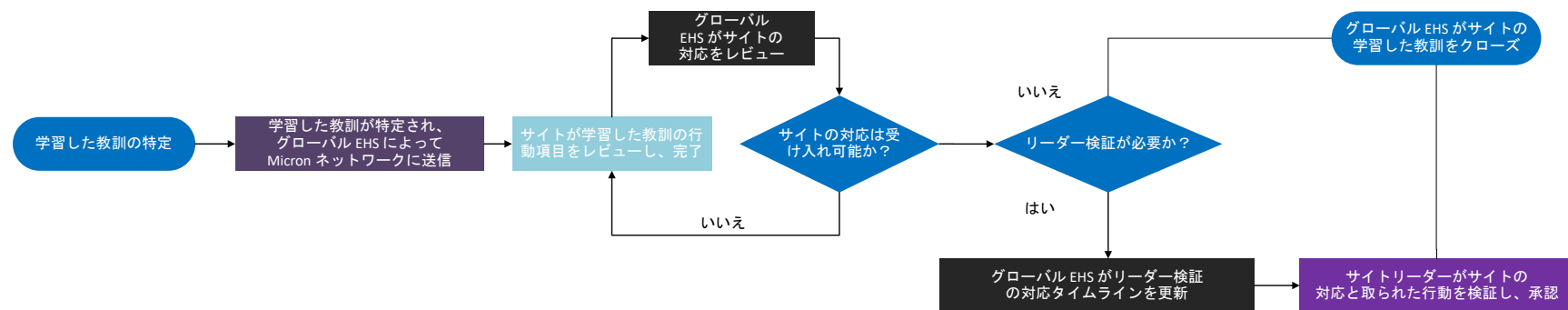
5. インシデント報告ビジネスプロセス



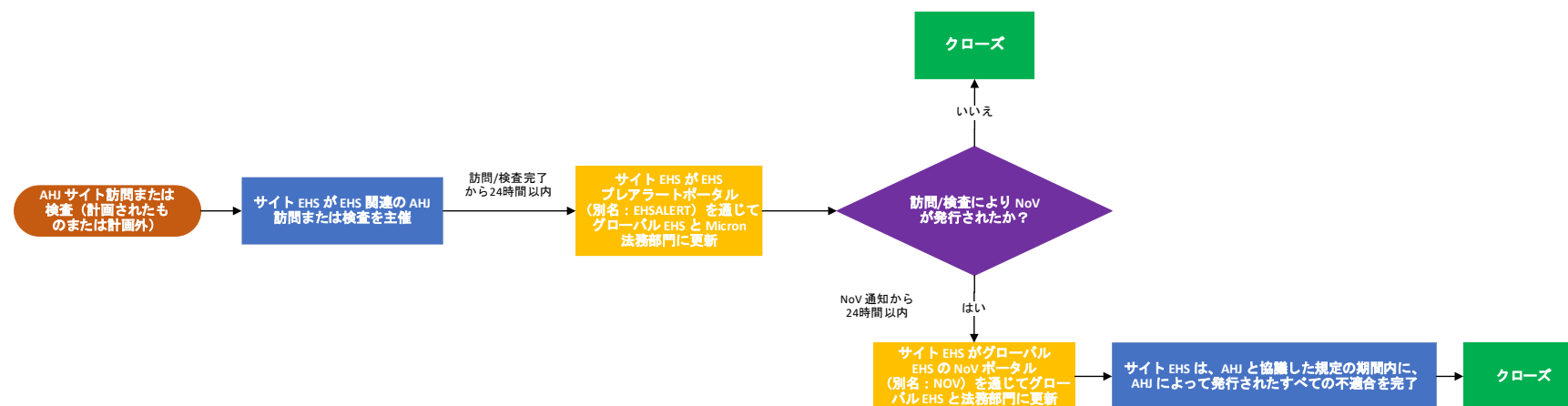
6. インシデント調査ビジネスプロセス



7. グローバル EHS レッスン学習ビジネスプロセス



8. AHJ および NOV ビジネスプロセス



ここで文書終わり